

記入例5-2 最終学年を留年し、正規の修学期間を超えて在学する期間について返還猶予を希望する②

返 還 猶 予 申 請 書

〇〇〇〇年 〇 月 〇〇 日

東京都社会福祉協議会会長 様

修学生番号 K25001

住所 〒123-4567

東京都千代田区飯田橋 3-10

氏名 東京 太郎

TEL 03(1234)5678

養成施設名 東京福祉人材専門学校

猶予期間については、正規の修学期間を超えて実際に卒業するまでの期間を記入してください。

下記のとおり介護福祉士等修学資金について返還猶予を申請します。

貸付期間	累計借受額	返還猶予申請期間
〇〇〇〇年〇月～〇〇〇〇年〇月	〇,〇〇〇,〇〇〇円	〇〇〇〇年〇月～〇〇〇〇年〇月
猶予理由 * 該当理由に〇を付ける * ()の該当事項にも〇をつける	① 在学中（貸付辞退後も在学・貸付打ち切り後も在学・貸付終了後も在学） 2 返還免除対象業務に従事中 3 返還免除対象業務に従事できない（就職活動中・指定施設で対象業務以外の職種に採用） 4 やむを得ない事由で国家試験を未受験又は不合格【社会福祉士のみ】 * 当該事実を証明する書類を添付してください。 5 国家試験を未受験又は不合格で返還免除対象業務に従事中【社会福祉士のみ】 （注意）国家資格を取得・登録前の業務従事期間は、返還免除に向けた期間に算定できません。 6 他種の養成施設に修学中 7 やむを得ない事由で返還免除対象業務に従事できなくなった（出産・介護・疾病負傷・人事異動）* 当該事実を証明する書類を添付してください。 8 その他	
説明 * 具体的に	【例】単位不足で卒業が延期したため、正規の修学期間を超えて在学しなければならず、正規の修学期間を超えた期間についての返還猶予を申請します。	

上記において2・5を選択された場合は、必ず下記も記入のこと

施設名称			
施設等種別			
所在地	〒		
	TEL		
業務内容	介護業務・相談業務・施設長の業務	職種	
従事開始日	年 月 日	雇用形態	常勤・非常勤

上記のとおりであることを証明します。

〇〇〇〇年 〇月 〇〇日

東京都社会福祉協議会会長 様

養成施設による証明が必要です。

従事先管理者

職名及び氏名 〒444-4444

東京都千代田区神田駿河台 1-3



**記入例5-2 最終学年を留年し、正規の修学期間を超えて在学する期間
について返還猶予を希望する②**

学校長 福祉 次郎